

(第42号)

The School Health (No. 42)

昭和36年12月20日発行
(隔月1回1日発行)

発行 日本学校保健会
栗山 重信
東京都港区西久保
明舟町10 3785
電話(501) 9974
振替口座東京 98761

印刷所 伊東進歩堂
東京都文京区東青柳町30

頒価1部15円(送料共)

学校保健

財団法人 日本学校保健会会報

教育の目的は、人格の完成と、社会生活の準備にある。そのためには、個人の健康と、社会の健康を同時に保つていく必要がある。学校保健は、この目的を達成するために、学校生活の中で、児童の健康を維持し、増進させることにある。

全国学校保健大会特集



第11回全国学校保健大会ひろく

10月15、17日・青森大会

第11回全国学校保健大会は、去る十月十五日から三日間、秋晴れの祝福をうけつつ、りんごのくに「青森県」において開催された。大会は、秩父宮妃殿下をはじめ、全国の関係者念すべく特集した。

秩父宮妃殿下の

おことば

開会式に臨まれた秩父宮妃殿下のおことばは、つぎのとおりである。

おことば

本日第十一回全国学校保健大会に臨み、学校保健関係者の方々とお会いすることができましたことは、まことに喜びに堪えません。

健康に、そして安全に、幸福な生活のできますことは、すべての国民の願うところであり、児童生徒が平素から健康と安全のために必要な習慣を身につけるよう心がけることは、ひとり、児童生徒の幸福のためばかりでなく、広く国家の立場から見ても、国の繁栄をもたらす原動力をつちかうことともなります。

近年、学校保健および学校安全に対する世の人々の関心が深まり年と共に向上しつつありますことは、関係者のご努力の賜であるとともにともに喜びに存じます。さらに関係者と一般社会の人々が心をあわせて、いっそうこの教育の振興に努力されるよう希望します。

青森大会の意義

この第11回大会の特色は、端的にいつて、「一般教員」問題の追究に一貫しようとしたことである。すなわち「一般教員の学校保健に対する理解と関心をいっそうたかめるにはどうすればよいか」を主要課題として、全体協議会、パネル式討論、分科総会、班別研究を一貫してこの問題の解決の具体的方途を求めようとしたことである。大会終了後、事務局が行なったアンケートにおいても、大会全体の感じとして「よかつた」83%のうち「主題に対して全体協議から班別研究まで協議内容が一貫していた」を、その理由にあげたものが75%ほどあつたことである。

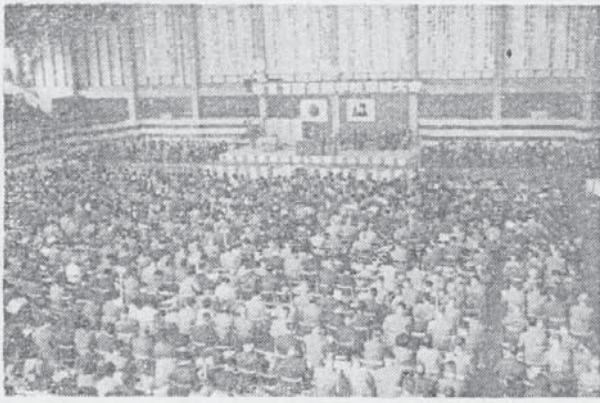
したがって青森大会は、学校保健学校安全会両法施行・教育課程改訂実施後における、「学校保健の新しい道」を指向したものであり、また大会の在り方そのものを示唆したものと見て、その意義は大きい。ここで特色とも目すべきものを摘記すれば次ぎのようなものであろう。

- 1 大会主題を設定したこと。しかもこの主題を一般教員対策に求め一連の掘りさげを試みたこと。
- 2 一般教員の究明と相俟つてPTA部会が新設されたこと。
- 3 へき地部会が新設されたこと。
- 4 要項や研究物を、一応大会主題を旗印に一冊にまとめあげたこと。

第42号 目次

- 第11回全国学校保健大会ひろく
- 秩父宮妃殿下のおことば
- 青森大会の意義
- 大会リポート
- 明年度開催地静岡県に決定
- 藍綬褒章に輝やく、大西義衛氏
- 学校教育功労者(学校保健関係)
- 第11回大会全体協議会
- 分科協議会
- 青森大会の或る白書として
- 大会後の学校保健の集會
- パネル式討論
- 全国保健主事部会代表者會議
- 養護教員大会
- 第6回全国学校医大会
- 第11回全国学校薬剤師大会

りんごのくにの 大会レポート



(写真は大会々場)

開会式

開会式は、定刻の午前九時から、秩父宮妃殿下をお迎えして、青森県立体育館において開催された。はるばる沖繩から馳せ参じた会員二氏に、地元の五百人の高校生コーラス隊をまじえ、三千五百人で埋めつくした会場は、荘厳に満ちた一大祭典の場となる。

小出大会委員長の開会宣言、君が代斉唱に続いて大会々長栗山重信氏(日本学校保健会長)が、「学校保健、学校安全の制度は一応整備されたが、これをいっそう充実させ、真に生きたものとするためには、何よりもまず深い研究とたゆまぬ実践が必要である」と会員の協力を要望して挨拶。次いで文部大臣(代理長谷川政務次官)中道青森県教育委員長の挨拶があり、ここで秩父宮妃殿下より別項のおことば(一頁所掲)があつて、式は最高潮に達し、このおことばに対し会員を代表して栗山大会々長より謝辞の後、山崎青森知事の祝辞をもつて開会式を終わった。

表彰式

次いで昭和三十六年度学校保健に関する功労者の文部大臣表彰の式が行なわれた。

まず体育局長から審査報告があり被表彰者に対し、長谷川文部政務次官から、各職域の代表に表彰状を授与。祝辞があつて、被表彰者を代表して大塚貞夫氏(弘前市立第一大成小学校・学校歯科医)謝辞を述べ、高校コーラス隊の讃歌で式を閉じた。なお被表彰者については、本紙前号にその詳細を掲載したので、ここには省略するが、個人および団体の被表彰者数は次ぎのとおりである。

- 保健主事二氏(小一、女高一)
- 学校医十八氏(小十五、中三)
- 学校歯科医十五氏(小十三、ろう一高一)
- 学校薬剤師三氏(小二、中一)

- 養護教諭一氏(中一)
- 学校保健A 学校保健委員会 四
- 組織体 B 郡市学校保健会 四

全体協議会

表彰式に引き続き全体協議会に移る。まず議長団に、中尾秀雄(福島県学校保健会長)渡辺金次郎(青森県学校保健会長)大中道完(静岡県学校保健会長)の三氏を選出。議長団(渡辺氏)の挨拶、前年度開催県福島の尾会長からの謝辞があつて、議事に入り、提案理由説明の後、はげしい討論が展開された。

協議題(別項)は、提案議題を五領域に整理されて協議を進めたが、Iの一般教員、保健主事の問題については、青森久保内氏より、①速かに教職員免許法施行規則第六条を改正し、学校保健を教職単位として心理学(三単位)と同一単位数に課すること。②学校保健計画実施要領に於ける一般教員、保健主事のための指導書を速かに作成すること。③その後、計画的、組織的な講習会を国、ブロック、都道府県郡市において開催し、現職教育の強化を図ること。④この際の旅費を国と地方公共団体が負担することとされたことを強く要望。

IIの学校保健専門職員の適正配置と待遇改善を要望する件については特にこれまで何回も提案され続けて来た養護教諭の必置制で、神戸市の

和泉氏ほか、文部当局に対し、これまで実現に至らなかつた理由を追究し、いわゆる百三条撤廃を迫り、杉江体育局長は次のように答えた。「この問題の困難性を指摘すれば、百三条を撤廃して養護教諭を各校に必置するよう義務づけよう」ということだが、現在ではまだその段階ではない。むしろ、中・高校生の急増対策が先決である。要望はたしかにもつともだが、問題は学校保健という全体からみれば狭い視野でばかり考へるべきではない。養護教諭その他職員については、国が定数の基準を示して地方公共団体に要望するのだが、それが充たされないのは学校保健の重要性が認識されていないとみえるが、それ以外の教員の補充に迫られていることも考えられる。これについては再考を求めたいが、しかし今後十分努力していきたい」

なおこれに対し、大阪、埼玉から養成機関問題にもふれて、さらに完全配置実現を強調した。

特別講演

またIII、IV、Vと、それぞれ活潑な討論が展開され、へき地問題、医療費補助の増額、学校安全会の災害給付対象の拡大、支部事務費の全額国庫負担等、当面の諸問題点について熱心な討論が行なわれた。この大会の特別講演は大会第二日の午後一時二十分から一時間、県立体育館で開催されたが、演者は青森県八戸市出身の立教大学総長松下正寿氏で、「国民生活と健康」と題し卓抜な識見を述べられ、聴衆に深い感銘を与えた。

明年度開催地 静岡県に決定

明年度全国学校保健大会の開催地については、大会第二日目の全体協議会において、静岡県と決定した。これが決定するや、静岡県体育保健課長、中尾同県学校保健会長から挨拶あり、明年十一月中旬頃静岡市でということであった。

よい子のビタミン

総合ビタミン・ミネラル剤

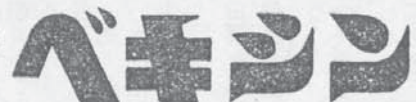


シオノギ 20錠 200円・45錠 420円・100錠 850円

服みよく...
下剤のいらぬ

新しい虫下し

蛔虫・蛭虫が
同時に下りる



4×240入 3,000円 1000入 3,000円



藍綬褒章に輝やく大西義衛氏

このたび香川県学校保健会長大西義衛氏は、多年同県における学校保健の振興に尽くされた功勞により、藍綬褒章を受章された。

大西氏は昭和二十三年、同県学校保健会長となり、同二十五年来同県教育委員長に三選され、学校保健および特殊教育の振興に献身的な努力を続けられて今日に至っているもので、学校保健関係者の中心となつて果された指導的役割は実に大きく、また一面、健康優良校の育成のため学校を訪問して指導にあたり、その結果、日本一、準日本一の模範校を選出させたほか、い歯の学校、運動の推進者でもある。さらに同県の特殊教育研究会、心理学会、精神衛生研究所を順次設立し、精神衛生相談を実施する等、特殊教育への貢献も大きい。



氏は明治十七年生まれ、同四十二年福岡医科大学卒業後、医業に従事。香川県の学校保健の振興の基礎は実に氏によつて築かれた。わが国の学校保健および特殊教育に尽くされた功績に対し、今回の受章はむしろおそすぎたといつてよい。

学校教育 表彰に学校保健関係の諸先生 功勞者

教育・文化週間の行事の一つとして、学校教育に特に功勞のあつた先生がた五十七氏(国立二、公立四十五、私立十)の表彰が、去る十一月四日、総理官邸で行なわれた。この表彰は昭和三十四年から行われて、今年では第三回目であるが、今年はいつて学校保健に尽力された諸先生のうち七氏が表彰を受けられたことは、保健教育の学校教育に占める比重と評価が漸次大きくなりつつあることを示すものとして注目されている。

荒木文相から親しく表彰を受けた先生方は次のとおりである。
森川 章(福井県武生市立武生東小学校長) 健康教育の実践を通して

学校経営に優れた成果をあげると共に、県下の学校体育、社会教育の振興等教育行政についても業績をあげている。

乾 隆平(三重県度会郡玉城町立外城田小学校長) 健康教育の振興に努力すると共に、校内における教育活動の各分野にわたり優れた学校経営を行ない実績をあげている。
高田啓三(滋賀県長浜市立長浜北小学校長) 健康教育、学校保健活動に尽力し、学校における教育の成果を家庭まで徹底させるなど学校経営に優れた成果を収め、また教育行政についても業績をあげている。
谷 八十八(岡山県立鳥城高等学校)

第11回全国学校保健大会全体協議題

- I 一般教員の学校保健の研修に属する制度の確立を要望するの件
 - (1) 教員の養成課程において学校保健を必修にするよう要望する。
 - (2) 一般教員の学校保健に関する現職教育を文部省が公費負担で行なうよう要望する。
- II 学校保健専門職員の適正配置と待遇改善を要望するの件
 - (1) 保健主事の身分待遇等の確立を図るよう要望する。
 - (2) 養護教諭の必置の実現を期するため、学校教育法第百三条を徹廃すると共に、これが国立の養成機関を速やかに設置することを要望する。
- III 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の手当の増額を図るよう要望する
 - (1) へき地学校における保健管理対策を強化するの件
 - (2) へき地学校保健管理費補助金の増額を図るよう要望する。
 - (3) へき地学校巡回指導車の購入費を国において半額負担することを要望する。
- IV 学校保健に関する施設設備の充実にとまなう国庫補助金の実現と、医療費補助金等の増額に関する件
 - (1) 保健室の施設、設備等を半額国庫負担とするよう要望する。
 - (2) 医療費補助金の増額と手続事務の簡素化を要望する。
 - (3) 学校環境衛生基準の制定と、これにともなう備品の一部国庫負担を要望する。
- V 学校保健、学校安全の円滑な運営に必要な法令改正を要望するの件
 - (1) 学校保健法施行令第七条の五に要除去乳歯を加えることを要望する
 - (2) 学校安全会の給付対象に高等学校における登下校時の災害を加えるよう要望する。
 - (3) 日本学校安全会支部の事務費を全額国庫負担とするよう要望する。
 - (4) 義務教育諸学校の校長および教員の結核以外の健康診断を都道府県教育委員会が実施できるように学校保健法第八条の改正を要望する。

村立幌呂小学校長) 恵まれないへき地学校に卒先して奉職し、へき地教育の振興に著しい業績をあげ、とくに体育施設の整備、林間学校の開設を通じて保健、体育の指導に成果をあげている。

松原 勝(埼玉県立岩槻実業高等学校長) 定時制生徒の体育の振興、学校給食の拡充、グラウンド照明設備の整備など定時制教育の振興に尽くしている。

新井田準次郎(北海道阿寒郡鶴居)

学童の栄養補給には

カワイ肝油ドロップ

よき完全消化
吸収力安定
特殊皮膜で効力

(学校用) 一粒中のビタミン含量
A 3,000 国際単位
D 300 国際単位

河合研究所
河合製薬株式会社

東京都中野区方町2丁目
電話(36) 3746
東京都中野区野方2丁目
電話(38) 443・445

分科協議会 ・・・を・・・ どうすればよいか

分科協議会

は、青森市内の小、中、高校八会場にわかれて、十月十五、十六の両日にわたって行われたが、本年は、大会準備委員会において、特に班別研究の協議内容設定に苦心のあとがみられ、従来のすべての各都道府県提案の形態をあらためて、一貫性をもたせたことは、すこぶる好評であった。おそらくせめて班別研究だけは、日常当面する問題を主体的かつ具体的に解決をはかるうとの願いが秘められていたであらう。

協議題 (太字は主題、円枠内数字は班別)

- 第1分科会 一般教員の学校保健に関する理解と関心をいっそうたかめるための具体的方途
1 一般教員、保健主事の現職教育
2 一般教員、児童・生徒の組織活動
3 特殊児童・生徒の管理と指導
第2分科会 学校環境衛生の整備改善
1 学校環境衛生検査の実施と処理
2 学校環境衛生の整備改善
3 学校給食の衛生管理
第3分科会 学校における保健教育
1 小学校における保健教育
2 中学校における保健教育
3 高等学校における保健教育
4 栄養指導
第4分科会 健康診断と疾病予防
1 健康診断と健康相談
2 う歯の管理と指導
3 トラホーム、屈折異常等眼疾患の管理と指導
4 寄生虫の管理と指導
5 耳鼻科疾患、聴力異常児対策
6 学校伝染病対策
第5分科会 児童・生徒の精神衛生
1 小学校における精神衛生
2 中学校における精神衛生
3 高等学校における精神衛生
第6分科会 へき地における学校保健活動
1 保健管理
2 保健教育
第7分科会 児童・生徒の安全生活
1 安全教育
2 安全管理
第8分科会 児童・生徒の健康生活についてPTAはどうすればよいか
1 学校保健の組織活動についてのPTA
2 家庭の健康生活についてのPTA

各分科会の決議および要望事項

- 第1分科会
1、保健主事に関する事。
①保健主事の職分を確立するため任命制が実現されるよう積極的な行政指導を要望する。
②保健主事を充分活動せしめるよう教員定数をふやすこと。
③保健主事の職分を明確にするよう文部省に検討願うこと。
2、一般教員の現職教育に関する事。
①文部省において保健の現職教育を一般教員に実施すべきこと。
②文部省において学校保健の手引書を作成すること。
③保健担当の指導主事を各出張所に配置願いたいこと。
3、虚弱児童対策について
①虚弱児童対象の養護学級または学校を増設すること。
②如上の設置基準をきめること。
③担当教員の手当をふやすこと。
④虚弱児童の保健管理にあたる養護教諭の配置を願いたい。
第2分科会
1、学級担任や教科担任に必要な学校環境衛生実施要領の作成を文部省において急ぐこと。
2、学校プールの附属衛生施設として通過式消毒槽(足洗場、腰洗槽)のあり方につき大阪方式の如きものも参考の一つとして考えてほしい。
3、教育委員会環境衛生検査車を設置していただきたい。
4、学校給食衛生管理規則を文部省令として公布されたい。
5、学校薬剤師の手当を増額していただきたい。
6、緊急提案として、学校保健の振興を図るため、理科教育振興法、産業教育振興法と同じく「学校保健振興法」を制定するよう促進したい。
第3分科会
1、保健教育の徹底を期するため、その整備充実を当局に要望する。
①小学校の体育科を保健体育科とする。
②小学校にも保健の学習時間を設ける。
③中学一年にも保健学習を課し、三カ年で百五時間とする。
④高等学校の保健を3単位とし各学年で1単位を学習するよう措置する。
2、小学校の保健教育に関する指導書を文部省において作成せられたい。
3、検定制度による小学校の保健教科書編纂を促進してほしい。
第4分科会
1、就学時の健康診断の時期を早めるため、学令簿の作成時期を十月頃とし、十二月までに終了できるように政令の改正を要望する。
2、健康診断の徹底を期するため、国の財政的裏付けを要望する。
3、職員の結核以外の健康診断についても都道府県教委が実施できるように法第八条の改正を要望する。
4、う歯の管理と指導の効果をたかめるため、学校保健法施行規則第六条にもとづく第二号様式歯の欄および第三号様式の一部改正を要望する。
5、視力検査において、遠視の検出が妥当になされるよう現行の施行規則の改正を要望する。
6、学校保健法施行令第七条の第六項の寄生虫のなかにぎよう虫を加えてほしい。
7、各都道府県に難聴学級の設置方



丈夫に...大きく...

お子様用...総合ビタミン剤 (50錠 300円)
パンビタミンペレ

3つの特長 ①ドロップのようにしゃぶれます ②吸収が大変よい ③お子様がよく喜んでおのみに なります

大阪市道修町 武田薬品工業株式会社 (東京 札幌・福岡)



青森大会の或る“白書”として

主催県の地元として感じたままに

第十一回全国学校保健大会は、関係者各位の絶大な協力でどうやら大過なく終つたようである。学校保健法、学校安全会法の施行と教育課程改訂実施の後における学校保健の進路を“一般教員”——学級活動に求めた意義はまことに大きい。これは歴史の必然といつてしまえばそれまでであるが、この課題は実に大きな問題を内包しているのである。すなわち教員養成課程における必修のこゝと現職教育を強化しなければならぬこと、現場における校長を中心とする具体的活動を促進しなければならぬこと等。要約すればこの三つの点にしばられて来るのである。しかも教員養成課程における必修の問題は教職員免許法施行規則の改正ともかかわることであるし、また現職教育に於いても、手引書の作成やこれを組織的に実施しなければならぬ文部省の体制が、必ずしも一致して強く推進しようとしていない現状では、直ちに明日からの成果を期待することは困難なようである。とすれば、結局、そのしわよせは都道府県、市町村、そして個々の学校に来てしまうのである。まして都道府県、市町村の現状をよみると、これもまた極めて頼りないものであつて、さして大きな前進を望むことは無理だといわなければならぬであらう。そうだとすれば、一般教員の問題は、即現場、個々の現場において日常の実践過程における大きな努力に期待するより途がないように思われる。し

たがつて、青森大会がこの問題を旗印にしたことは、真にこの突破口としてこそ意義があるのであつて、われわれはそれぞれの職能において、これから何年かかつても、あくまでも取り組まなければならない問題なのである。

1 性格とその困難性

さて、このような観点に立つとき全国学校保健大会は、いつたい、どうあれよいのか。これをしばらく考えてみたいと思う。

× × ×

学校保健研究十一月号の巻頭の一文に「学校保健大会は、それが全国大会であれ、ブロック大会であれ、大会であれ、学校保健の具体的諸問題を実践的に解決することのみがめざされるべきである」と、その性格を指摘している。

従来この種の大会といつても、特に全国学校大会の問題についていつてみれば、歴史的必然性も手伝つて学校保健法、学校安全会法あるいは保健教育制度の拡充等の、主として制度上の問題解決を促進することに大きな力を果して来た。言いかえてみれば、分科総会も、班別研究も、すべて全体会議における何々法の整備拡充のみに向いて、肝腎のわれわれにとつて最も大切な、明日の教育実践を指向する身近な、具体的、主體的諸問題の追究は、意外なほどおろそかになつて来た。したがつて青森大会は、このような歴史性から

法的整備がある程度果された今日の段階において、今日よりの問題として、一般教員問題の解決を主目標としたことは、結果はともかくとして、大きな前進といわなければならぬ。このような意味合いから、今度のパネル式討論の存在価値もまた班別研究への意欲の喚起と方向づけの場として意味をもつたと思う。

しかし、全国大会の性格とその方向はよしとしても、実際の計画と運営にはかなりな困難性が存在する。すなわち、いかなる分科会においても、学校保健そのものの特性から、かりに主体を学校の先生におきかえても、学校長、保健主事、養護教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、PTA、教委、大学など、実に多様な構成になり、問題領域がつねに多岐に及んでいくことである。このことは、今回のアンケートを通してみても、大会開催地があれほど班別研究題の設定に意を用いて具体化して

もなおかつ「よかつた」という回答が四〇・三%しか得られなかつた事実が裏書きしている。それが大会全体の計画に対して八三・二%の「よかつた」の回答を寄せ、そのうち七五%が「主題を一貫して班別研究まで流した」の回答をあげているだけに、余計に考えさせられるのである。前述のように、学校保健大会が具体的諸問題を実践的に解決することにあるならば、今度の青森大会の場合も計画としては一応承認してよいことになつて来る。全日程の五三%の時間をパネルと分科協議会に振り分け、一般教員問題を学級活動の問題に要望する。

8、保健室の中に聴力検査ボックスを設備していただきたい。

9、各学校に必ずオーディオメーターを設備していただきたい。

10、全国の学校に耳鼻咽喉科医を学校医として配置していただきたい。

◇第5分科会

1、各都道府県、五大市に児童の精神衛生相談所を設置して頂きたい。

2、精神衛生の指導者育成のため指導書作成、講習会の開催を要望する

◇第6分科会

1、へき地学校の保健管理対策として、国費をもつて学校巡回診療が実現できるように要望する。

2、へき地学校の学校給食施設整備のため、全額国庫負担を要望する。

◇第7分科会

1、文部省および関係当局に学校安全の指導書作成と講習会の開催を要望する。

2、学校安全会の給付対象に高校生の上校時の災害を加えるよう、法令の改正を要望する。

3、学校プールでの疾病（中耳炎、結膜炎等）や予防接種による疾病等を給付の対象にすることを要望する

4、災害をうけて他から補償があつた場合でも、安全会から見舞金か災害給付がうけられるよう要望する。

◇第8分科会

1、決議事項①学校と家庭とがいつそ密接に協力し児童の健康をたかめていこう②学校保健委員会を父母が子供たちと話しあう場としていつそ活用し運営しよう

2、要望事項①健康診断の処理および家庭との連絡のため健康手帳の使用を義務づけてほしい。②学校保健委員会の活動がふるわぬ学校もあるため、これが育成強化を関係方面に要望する。

脳の働きをよくする

ギャバ製剤 ガンマー・アミノ酸

ガンマロン

錠・液・注

第一製薬 東京・日本橋 ★文献進呈



ニチバンの絆創膏

東京 大阪

日絆薬品工業株式会社

題として実践的にとらえようと主催者は努力した、けれども、班別研究に対する抵抗の主たるものは、事前研究にあつたのではないかと思ふ。いかにすぐれた用意があつても、その計画を十分理解し、豊かな資料を事前に準備して来ないかぎり、たとえその分科会に出席したとしても、より深いより豊かな研究は困難なことであらう。さらに、精神衛生とPTAの部会においては、その歴史も浅く現場におけるよい実践があまり見られないだけに、一部の者同士の討論に終るなど、互いに多少の不満をのこしたことは、やむを得なかつたように思ふ。

もう一つは、全体協議会、分科総会の在り方である。例年、それぞれの協議会は、各都道府県、六都市から提案されて来たものを議題として、議論にものぼる。したがつて協議はいつも同じようなものを浅く広く表面だけ撫でるだけでせい一杯になつてしまふのである。このたびのアンケートではこれに対し「形式化は早く避けよ」と強い指摘があつた。提案者である各都道府県、六都市の教育委員会と学校保健会のいつその協力が必要になつて来るわけである。ここでこの項の結論を急ごう。

如上の問題はすべて大会主題の不徹底に起因していることを認めて、その徹底方法を究め、事前研究を容易ならしめることである。

(1) 文部省もしくは日本学校保健会において本年度に次年度の課題を設定し、その課題をもつて県、ブロック、全国というように、組織的、系統的な研究を促すこと。

(2) そろそろ参加者の数を規定し、質量の充実したものを参加させ研究協議会のカラーを強めること。

2 文部省および日本学校保健会は主体性を確立せよ

文部省、日本学校保健会の主体性を實質的に確立することが必要である。いつの全国大会の場合でも、僅少な経費を支出して、しかも主題設定から、運営まですべて地元まかせこれでは無責任というものである。その上、あてもない、こうでもないと、いわゆる権力でもつてのご指導があるのでは、かえつて準備当局は困難をきたすであらう。一昨年、昨年、本年と、いずれも四百万円以上を費しているわけであるが、文部省からは依然として低額の支出にとどまつていると聞いている。上述のような全国大会の性格では、文部省は積極的に乗り出せないというのだろうか。年間数回の講習会をもつだけの文部省なのに……。たとえ医療費の補助金を何億計上したとしてもその費用を真に教育的に活かすものは誰であるかを確かり認めてもらいたい。人の育成を図らずして何の保健管理であらう。青森大会の一般教員問題解決等の一つ一つを謙虚にかみしめてもらいたいと熱望してやまない。

また日本学校保健大会は、学会のように学ばかりの集まりではいけないことを指摘したい。一つも若さとか。日本体育協会とまではいかないまでももう少し実のある、せめて国から育成費をもらえるまでに成長

してほしい。そうでないと、大会でいくら決議をしても決して問題の解決は望めそうにないのである。文部省と日本学校保健会が現在のままで、全国大会は一つも進歩することなく、旧態依然、文部省の激励会に終つてしまふであらう。

おわりに、開催地の決定方法について一言ふれておきたい。明年はめでたく静岡県に決定したが、しかし決定までにずいぶん難航したようである。

ある。これは今後、少くとも二年前に決定するようにしてもらいたいものである。国体はもう数年先まで決まっている、これはいわば引く手あまたのせいであるが、文部省や日本学校保健会がもう少し現場と接触を密にし魅力ある存在にならなければいけない。自ら主体的に働いてこそ真に現場はついていくのである。愛情をもて、と懇願してやまない。

大会後の学校保健の集會

第12回日本学校保健学会
日本学校保健学会は、11月22、23の両日、岡山大学において開催された

日本学校保健学会
六大都市学校保健協議会
第12回六大都市学校保健協議会

一般演題は両日におたり67題にのぼり、医学保健、体育の立場から研究の発表があつたが、特に23日午後マに、村上金沢大教授の司会で、六氏により活潑に行われた。

特別講演は、「難聴児対策の諸問題」岡山大学医学部教授高原滋夫、同部講師東川清彦、「難聴学級について」岡山市の内山下小学校教諭安藤恵三、ろう学校教諭岡本猛、「精神薄弱児の保健体育」旭川学園江草安彦、「教育の場における肢体不自由児」岡山病院整形外科田辺剛造、「肢体不自由施設における療育について」旭川療育園長堀川竜一の諸氏であつた。

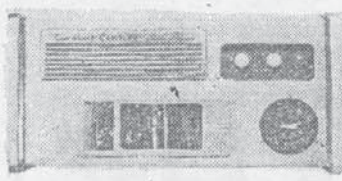
なおこの学会では、講演要旨、シンポジウムの提示意見の要旨、など資料が抄録集に手ぎわよくまとめられて、参会者に大いに役立つた。

六大都市学校保健協議会は11月26、27日の両日にわたり、東京都千代田区立麹町中学校において開催された協議会は、開会式に始まり、全体会議、続いて分科会を開き、全体協議会をしめくくりをつけて閉会したが、この協議会では、各都市提出議題協議のため、9部会(学校医・学校歯科医・学校薬剤師・学術・校團長・保健主事・養護教員・PTA・都市教育委員会)に分れて分科会をもつた。

全体会議は、協議題「六大都市学校保健協議会はこれでよいのか」(神戸市提出)を中心に活潑な討議が行われ、全体協議会では、(1)分科協議会の報告並びに質疑(2)本協議会として必要な決議・陳情等について協議(3)次回開催地について協議、等が行なわれた。

参加者は1市20名程度としたが、二百余名の参加あり、第2日は、小学校、養護学校を視察した。

学童の健康管理に!



フクダ心電計
MODEL DR-IT
WEIGHT 6.5 kg

フクダ医療電機株式会社
本社・東京都台東区池の端七軒町7(821)4096・6576-7

学校保健衛生測定器

塵埃計	温度計	ガス検知器
照度計	湿度計	水の検査器
騒音計	通風計	食品検査器

柴田化学器械工業株式会社
東京都台東区上野花園町7番地
電話 東京(821)代表5121

石崎(司会) 午前中の全体協議会では予算その他のことが話されたが、要は、一般教員の活潑な活動を得なければ学校保健の仕事の大半はその意義を失ってしまうようにうかがわれた。例を昨年度の日本一健康優良校に選ばれた本県の相内校にとると先生方の涙ぐましい部落への活躍を部落の人々が受けとめ、学校ぐるみ部落ぐるみの形に発展している。このようなことから、本大会で、一般教員の立場を認識し、その問題を前面におしだして提起していることは大きな収穫である。このことが本年さらに来年、再来年と発展していくことを願うものである。

堤腰(一般教員) 本日の大会に一般教員の参加は僅か六十六名(四・七%)にすぎない。一般教員が学校保健について、どのように認識し、それを行うのどのような困難を感じているか。例を年間学校保健計画にとれば、年度はじめにそれが作られても、実際の仕事とは懸け離れてしまい、突然○調査とか×アンケートとかが保健室から出されて来たり、健康診断の場合も、学級担任は学校の助手を勤めるだけで終る。環境衛生の設備をしたいと要求しても、校長は予算がないという。う歯検診も、四月に検診して、事後措置は家庭に配布し終わったものと思つていたら、七月になつて治療の結果を調べたいという。児童は四月当時のままで治療はしていない。このように、学校保健

パネル式 討論

司会

弘前大学教授 石崎 宜雄

- 一般教員 福井県神明小学校 堤腰 利雄
- 学校長 鎌倉市御成小学校 松岡 忠夫
- 教育委員会 神奈川県教育庁 浜田 正好
- 技術関係者 弘前市時敏小学校 板垣正太郎
- P T A 青森県相内小学校 山内 弥一
- 学識経験者 福島大学教授 須藤 春一

の問題とすべき事柄が、担任の教師と何の関係もなく無計画に無造作に処理されているのである。そこで、学級担任に前向きな姿勢を持たせたかつたら、やはりその方法や計画を適当に指導して頂きたいと思う。この適切な指導や資料を提供して頂いたため、回虫の検査を含む一連の保健指導がうまくゆき、児童が興味と関心をたかめ、効果がいつそう深まった例がある。保健教育は、一般教師がその成否の鍵を握っているものであるから、校長や教委側からの親切的指導を賜りたい。松岡(学校長) 学校保健の問題は重大であるが、現実の問題としては

まことに難しく、多くの未解決点が残っている。校長ひとりの力では如何ともなしがたいのは当然で、一般教師も学校医も学校歯科医も学校薬剤師も共に協力しあつて計画を立案し、全員の問題としてこれを認識し実践していくことが大切である。校長としては、ともかくみんなが役割になつて、フルに動き得る体制をつくつてやるのが一番大切である。

なぜなら、一般教員側が保健の価値観や健康観を確立していれば、こうしてくれ、ああしてくれと、自分から積極的に出てくるべきもので、傍観するより飛びこんで、ぶつかつていく態度と研究心を望みたい。松岡先生の全校協力の態度に同感である。学校保健の領域は広いのだから、全職員にそれぞれ一翼を担つてもらわなければ効果は期待できないと思う。板垣(技術関係者) 浜田先生のいわれる一般教員の健康に対する価値観についても問題は感じるが、私共技術関係者は学校教育そのものの理解が薄い。だから、学校保健計画の立案にも、実情に即した新鮮な資料を提供することが

は、多数の児童を一時にやるのだから、大雑把なことしかできない。さらにへき地では、一人の学校医が各専門医の代行をするのだから、その効果も期し難い。したがつて診断検査の場合には、一般教員が立ち会つて、日常の健康観察記録をもつて学校医と相談しながら個々の児童の問題を解決していくように願いたい。山内(P T A) 私は青森県でも山の小さな相内校で、子供を育てる奥の小さな相内校で、実は健康のたのしみを覚えたのも、実は健康の教育をやりはじめてからである。学校保健委員会が、父母、教師、子供を含めて発し一体となつて活動してその成果を見るに至つたのである。

一般教員の中に保健教育についての理解や熱意のない人があつたら、それは曾つて無関心だつた私たちと同じだ。保健教育は教科その他の教育内容からみれば、或いは重要でないと思う人もあろうが、しかし教育は子供を育てるものであり、これは学校だけでなく家庭にも及ぶものだ。健康な明るい家庭にこそ、よい子が育つことを思うとき、どうして保健教育をなおざりにできないようか。家庭をめぐりながら行なうには、学校の教育を通して行なうのが一番効果があるどうか、学校保健委員会のような組織を活かして、一般教員と無智な私共をめぐりさせて頂きたい。

須藤(学識経験者) 本大会のテーマは、いかに討議しても、大きな問題を含み、あとに残るものがあると思う。この解決は、たとえ五年、十年後であつてもよいから、今は問題解決のための努力を誓ひたい。本日の御意見を承ると、学校による差はあれ、熱情を傾けて努力しておられるわけだ。また一般教員はその養成機関で児童心理学を勉強され現場でもその知識を活用されているが、現段階では、心理学はすべての行動や現象を説明するほど進歩していない。成長期の児童生徒の心身の諸問題解決には、むしろ身体生理学的な面の勉強が望まれる。だから、問題の解決策は、教員養成機関の教育課程で、習得単位の内容にこのことを盛りこむことだと思ふ。最近の先生方の関心は、学校保健よりも、何より学力向上と進学に向けられているところが大切であるとするなら、相内校のように、学校保健委員会を中心に品行も身体もよくなるという実例を示していくように努めなければならぬと思ふ。

ひび・しもやけ・肌荒れに……

和ナイン 軟膏

TV映画

琴姫七変化……土曜よる7時から放送

東京・大塚製薬・大阪

東京都学校保健会推薦

強い体力 抵抗力をつくる!

毎朝ひとつぶ

強力 ミネビタール

高単位総合ビタミン剤

疲労回復・発育促進にも…他にミネビタール・小児用・液・末・ドリンク



全国保健主事部会 代表者会議

◇全国保健主事部会代表者会議は、大会の前日、弘前市中弘教育会館で開催されたが、各県の代表者に青森県内の有志を加え一五〇名の参加で熱心な会議をもつことができた。

◇この会議で討議された主なる事項は次のとおりである。

1、全国保健主事部会の組織を強化するにはどうしたらよいか。(各県の組織強化が一そう重要で、これを基盤に全国組織の強化をはかるため連絡を密にする)

2、保健主事の身分を確立しなければならぬ。(機会あることに文部省に働きかけ、待遇、担当授業時間の軽減等、教頭なみの待遇、身分を確立する)

3、保健主事の研修が県や国で計画的に実施されるようにしなければならぬ。(このためにも県の組織の強化、全国組織の強化が重要である。)

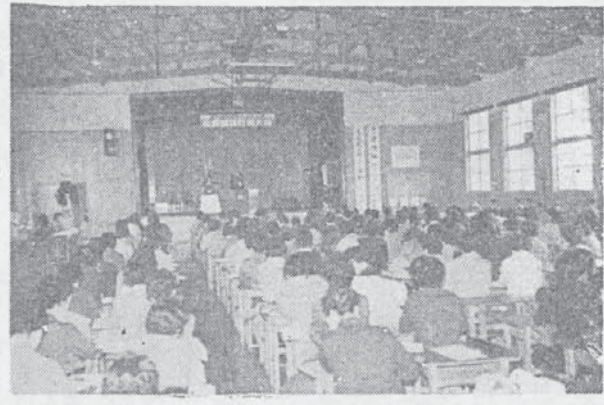
◇この会議を終えて、城下町弘前市の観光および二時間、津軽の風物にひたり、翌日の大会に臨んだ。

養護教員大会

◇大会の前日、午後二時から、青森市立第一中学校で、会員二五〇名出席のもとに行なわれた。本年度は総会を別に東京で開催したので、純然たる大会として開くことになった

◇開会式に引続き「保健福祉について」と題する鳴海康伸博士の特別

講演を聴いてから「養護教員部会の活動について」を主題に研究協議会を開き、熱心な討議の後、五時から開催県の心づくしのレクリエーションと懇親会がなごやかにくりひろげられた。(写真は養護教員大会)



第6回

全国学校医大会

◇本年度の大会は、大会の前日、丸一日を費して、青森市自治会館ホールで開催された。これは例年にならぬ日本学校医会の英断と、開催地元の青森県学校医会の熱意によるものである。

◇この大会では「学校医と教職員との協力体制の確立」という中心課題が設定され、学校医(荒井、油井、内海、山田)、学校長(岩谷、土岐)、保健主事(岡田)、養護教諭(奈良)、一般教員(馬場)の九名によるシン

ポジウムにより展開された。これは昨今保健管理と保健教育の制度が漸く好ましい方向に発展しつつあるが医学と教育学の接点を、現場における具体的実践過程において、どこに求め、どのように子供の健康生活の確立に導くべきかという具体問題にまで言及されたことは、全国学校保健大会が「一般教員」対策を追究していただけに、大きな意義があつた

◇次に特記すべきは、研究発表で、結核(岡山・森、矢部、青森・村上)、循環器(東京・新川)、寄生虫(青森・北島)、眼科(青森・油井)から研究成果が開陳され、なごやかなうちにも、きびしい学会ムードがみなぎつたことである。

◇協議会は、①学校医の待遇問題(日学医・榊田)②学校医会の強化問題(日学医・野津)③教員免許法の改正問題(青森・菊田)④学校医の研修問題(青森・村上)の提案があり、熱心な討論が行なわれた。

◇その他、恒例の功労者二五氏の表彰が行なわれたが、第六回を迎えた全国学校医大会は、従上のように漸く本質をついた魅力あるものに発展して来た。ことに今回は青森県学校医会が「学校医」(B5二二三頁)なる研究誌を発行するなど、その熱意のほどもうかがわれ、八一才を迎えてかくしやくたる鈴木会長のもと一糸みだれず活動された同県学校医会の強い団結の所産がこの成功をもたらしたものと見てよい。

第11回 全国

学校薬剤師大会

◇第十一回全国薬剤師大会は、大

会の前日午前九時半から、青森市立野脇中学校講堂で開催された。全国からの参会者二五〇名以上のほり会員の熱意と、地元青森薬剤師会員の心遣いと巧みな会議運営で、日本学校薬剤師会総会、表彰式、パネル討論、特別講演、協議会、研究発表と、スムーズに進行、学校薬剤師必置制実施後最初の記念すべき大会にふさわしい盛会であつた。

◇昨年に引き続き第二回の本年度日本学校薬剤師会賞の受賞者は、団体としては埼玉県学校薬剤師会、岐阜県大垣市学校薬剤師会、北海道旭川市学校薬剤師会、個人は野崎善雄(福島)、長本正典(兵庫)の両氏であつた。

◇なおこの大会の呼びものであつたパネル式討論「学校薬剤師はどのようにして学校の中にとけこむべきか」は、司会者青柳喜一(北海道)討論者松木秀生(八戸市小中野小学校長)、宮崎英昭(鶴田町鶴田小学校保健主事)、大石喜穂(八戸高等学校養護教諭)の諸氏に、学校薬剤師側では石川満寿雄(東京)副田克美(広島)、黒岩将臣氏ら六氏によつて行われ、学校保健の權威金沢大学教育学部の村上賢三博士の「学校保健活動と学校薬剤師」の特別講演と共に、この大会の白眉であつた。

◇またこの大会に文部省の杉江体育局長をはじめ地元の来賓多数の臨席あり、全国学校保健大会に関連する職域部門としては特段の盛会であつたとの讃辞を各方面から得た。

新発売



100円

マッ白な歯をつくる
マッ白な歯磨

ホワイト
ライオン